

2024 年度京都府理学療法士会定時総会議事録

日時 2025 年 6 月 22 日(日) 14:45~16:15

場所 京都大学医学部人間健康科学科 杉浦ホール 対面開催 (ZOOM による傍聴)

司会 荻谷

議長 大島

書記 石井

荻谷事務局長より開会宣言

* 京都府理学療法士会 麻田会長より挨拶

* 松井市長より祝電披露

● 前会長 並河茂先生へ日本理学療法士協会永年会員感謝状を贈呈

● 2024 年度士会会長賞表彰

南角表彰審査委員長より 2024 年度会長賞受賞者 5 名を発表

日下 千里先生 (京都大原記念病院)

坂野 裕也先生 (西京都病院)

辰巳 泰浩先生 (宇治徳洲会病院)

野島 正光先生 (京都府立舞鶴こども療育センター)

堀 博寿先生 (西陣病院)

代表として坂野先生に麻田会長より表彰状授与 (他 4 名の先生方には後日郵送)

● 議長、書記の選出

議長選出: 大島洋平 (京都大学医学部附属病院)

書記選出: 石井雄也 (蘇生会総合病院)

● 定足数確認

総会員数 2,814 名 (総会員数の 1/2: 1,408 名)

出席者 32 名

委任状 1,951 名 計 1,983 名

以上の通り総会成立の必要性を満たす

議長の成立宣言により議事に入る

【審議事項】

●第一号議案 2024 年度事業報告審議

会長総括

1. 2024 年度は各局各部が Web 環境下と対面事業を効果的となるよう選択実施しました。
事業決算では予算より少なくなっていますが事業は全て執行済みです。差異は計画時の対面実施計画が Web 実施に変更されたことによって費用が抑えられ事業が完結したためです。令和 7 年度では計画時から対面か Web か、参加者規模などを最大限考慮して事業が計画されるべきであると思っています。
2. 5 年前から続く会員の休会や退会の増加問題では、日本理学療法士協会とともに入会促進、休会・退会対策を継続して進めていきましたが、会員数微増傾向が続いている状態です。引き続き、士会員であることの魅力作りとともに、効果的な発信も積極的に行ってまいります。認定・専門資格の保険適用への働きかけも、日本理学療法士協会・連盟と共に協力体制を整えてまいります。
3. 【事務局】3 名の事務員と共に負担感が軽減するように工夫をしていましたが、期日の迫った依頼が多くなり反省すべき点がありました。計画的な業務依頼を心掛けてまいります。業務整理など他局と協力のもと、各事業を知っていただくことも大きな業務ですので、整理・発信・管理に努めてまいります。
4. 【社会局】会員などへの内向け事業、府民や他団体向け事業を確実にこなしていった 1 年でした。年を追うごとに事業範囲は拡大していますが、会員ネットワークや管理者事業などを大切に進め理学療法士会の社会的意義を広めて行くことができました。
5. 【地域局】11 支部活動が確実に事業執行できている事に安心感と希望を抱いています。支部内での情報共有と顔の見える関係づくり、支部間連携及び社会局・学術局事業の一部支部事業化にも将来的に対応できる基礎となった 1 年でした。他団体との協働事業も見据えた取り組みも今後の楽しみとなります。
6. 【学術局】研修会スタイルが変化する中、開催視点を変え対面・Web 研修を内容別に見直し取り組んでできました。参加者も昨年度と比して増加傾向となり、京都府理学療法学術大会も成功裏に終えることができました。次年度の近畿理学療法学術大会へ向けて更なる変化を望むところです。
7. 【京都府リハビリテーション三療法士会協議会】北部研修事業は補助金事業から外れましたが充実した事業を進めて頂きました。また、2 期目となる京都府補助金事業も 2 事業を予定通り終えることができました。令和 8 年度の事業拡大を目指し三士会の機能を充実してまいります。
8. 【委員会】エスカレーターマナーアップ推進委員会では近畿ブロック士会の協力を得て各県の駅にポスター掲示が出来ました。新聞掲載も継続的にお世話になり充実した活動となっています。

各局より事業報告

- * 事務局：(荻谷事務局長より)総務部、財務部、広報部の報告
- * 社会局：(田村社会局長より)保険部、職能部、公益事業部、災害対策部、スポーツ活動支援部の報告
- * 地域局：(田後地域局長より)地域局、11 支部活動の報告
- * 学術局：(建内学術局長より)生涯学習部、新人教育部、症例発表部、北部研修部、会誌編集部、学会部、その他の報告
- * 委員会報告：(荻谷事務局長より)表彰審査委員会、選挙管理委員会、認知症対策委員会、地域包括ケア委員会、エスカレーターマナーアップ推進委員会、55 周年記念事業委員会、糖尿病対策推進委員会、スクールトレーナー委員会の報告
- * その他の事業：(荻谷事務局長より)京都府リハビリテーション就業フェア実行委員会、京都府リハビリテーション三療法士会協議会の報告

●第二号議案 2024 年度決算報告審議

南角財務担当理事より、資料 P. 21 を参照にて年度決算報告
荻谷事務局長より、資料 P. 23 を参照にて特別会計報告

【第一号・第二号議案について挙手にて賛成多数 承認】

●第三号議案 選挙管理委員選出

選挙管理委員が欠席の為、議案内容について議長より説明

4 月 14 日～5 月 2 日の公募の結果、立候補者はありませんでした。

規定により、理事会より以下の 3 名を推薦されました。

木村智子先生(京都橘大学)、治郎丸卓三先生(佛教大学)、丹羽佑斗先生(京大病院)

【第三号議案について挙手にて賛成多数 承認】

●第四号議案 繰越金を会館設立積立金に繰り入れる件について

麻田会長より、繰越金の推移について説明。繰越金のより有意義な活用を議論・検討する中で、多くの人に公的に使用していただける会館設立積立金として繰り入れる。

【第四号議案について挙手にて賛成多数 承認】

【報告事項】

●第一号報告 監査報告

石井監事より、資料(24 ページ)参照にて報告

●第二号報告 2025 年度事業計画案報告

麻田会長より、パワーポイント提示にて事業計画案報告

1. 各局事業(各部)、委員会事業(各委員会)、その他の事業について報告
2. 本年度の新規事業として政策調整委員会を発足
政策提言作成と答申、委託事業の管理、連盟との協調・協働を目的とする
3. 2025 年度重要事業
 - * 55 周年記念式典及び祝賀会 2025 年 11 月 9 日(日) リーガロイヤルホテル京都
 - * 第 65 回近畿理学療法学術大会 2026 年 1 月 25 日(日) 京都テルサ
4. 京都府理学療法士会事務所の移転
近年の Web 環境の充実などの影響等を踏まえて、会議室の占有が不要となるなど必要な資源も変化している。今年は現事務所の更新年度であり、物件等の条件及び状況によるが移転を計画・実行する
5. 京都市版リエイブルメント研修の案内

●第三号報告 2025 年度予算案報告

南角財務担当理事より、P. 21 を参照にて年度予算案報告

●質疑応答

Q：並河先生 第一号報告について

なぜ「監査結果 9. 職業倫理の遵守についての士会からの発信」が出てきたのか。

A：石井監事

理学療法士協会のホームページにも掲載されているが、昨年度もかなりの不祥事がありました。短期間の掲載ではなく現在でもすぐに出てくるようになっている。京都府理学療法士会としても、会員に対して啓発することが必要と判断して監査報告とさせて頂きました。

Q：並河先生 コンプライアンス・ガバナンスについて

コンプライアンスやガバナンスについて問題が出てきた時に対応するために、士会の中にコンプライアンス委員会が必要ではないか。

A：麻田会長

現状は正式なコンプライアンス委員会はありませんが、話題が出るたびに三役委員会の方で検討しています。おっしゃる通り、必要な時代になっておりますので早々に検討していきたいと思います。

●議長団解散

議長は以上をもって議事を終了した旨を述べ、16：15 に閉会した

堀江副会長より、閉会の挨拶